

本号は「小腸疾患診療の新たな展開」と題して特集した。これまでのカプセル内視鏡やダブルバルーン内視鏡の適応や技術的側面に比重を置いた特集から一歩進んで、今後の小腸疾患概念を再構築するうえでの両内視鏡検査を中心に小腸病変に対する各種検査法の役割、使い分けについて、三井、眞部、矢野論文で多くの症例を呈示しながら解説された。長坂、大宮論文では Crohn 病の診断治療における小腸内視鏡の役割と有用性が述べられた。また、新しい検査法である CT enterography の有用性についても岩田論文で述べられた。さらに松本論文では異同が議論されてい

た非特異性多発性小腸潰瘍症と NSAIDs 潰瘍について小腸内視鏡を用いた詳細な検討がなされ、画像的に異なった疾患であることが報告された。本特集号において、大変多くの小腸疾患の内視鏡像が提示されたほか、さらに今後、急速に進むことが予測される小腸疾患概念の再構築、整理という臨床研究の分野において、内視鏡検査が必要不可欠であることが再確認された。近い将来、小腸疾患の再構築による疾患概念の完成のほか、「主題研究」の長浜論文で詳細に述べられた里吉病のような、全く新しい小腸疾患が発見されることも期待する。

# 胃と腸

12月号(第41巻・第13号) 予告

発売予定 12月25日  
定 価 2,625円

## 主題／大腸腫瘍に対する拡大内視鏡診断の最先端

|      |                                                                                            |         |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| 序 説  | 大腸腫瘍に対する拡大内視鏡診断の最先端…………… 昭和大横浜市北部病院・消化器センター                                                | 工 藤 進 英 |
| 主 題  | 大腸腫瘍の拡大観察：何が進歩したのか<br>— V 型 pit pattern 診断の変遷と現状：<br>癌の深達度診断を中心に…………… 広島大学病院・光学医療診療部       | 田中 信治・他 |
|      | — Vi pit pattern の分析および診断に関する<br>コンセンサス：工藤班研究成果を踏まえて…………… 昭和大横浜市北部病院・消化器センター               | 工藤 進英・他 |
|      | 拡大内視鏡診断における腫瘍・非腫瘍の鑑別…………… 秋田赤十字病院・消化器病センター                                                 | 山野 泰穂・他 |
|      | 大腸内視鏡治療における拡大観察応用の最先端<br>— 計画的分割切除における有用性…………… 久留米大学医学部・消化器内科部門                            | 鶴田 修・他  |
|      | 大腸の側方発育型腫瘍の臨床病理学的特徴と内視鏡治療<br>およびその局所適応における拡大観察の有用性…………… 高知大学病院・光学医療診療部                     | 田村 智・他  |
|      | 大腸における narrow band imaging (NBI) 観察の<br>臨床意義について…………… 蕨風会佐野病院・消化器センター                      | 佐野 寧・他  |
|      | 新しい modality による大腸拡大観察の<br>有用性・問題点・将来展望— endocytoscopy<br>(超拡大内視鏡)…………… 昭和大横浜市北部病院・消化器センター | 笹島 圭太・他 |
| 症例検討 | V 型 pit pattern 診断の実際<br>— 臨床からのまとめ…………… 広島大学病院・光学医療診療部                                    | 田 中 信 治 |
|      | — 病理からのまとめ…………… 九州大学大学院医学研究院・形態機能病理学                                                       | 八 尾 隆 史 |

## 胃と腸 (第41巻 第12号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714

FAX (03) 3815-7802 / 3815-7982

E-mail : itc @ igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/itocho/

2006 年 11 月 25 日発行(毎月 25 日発行)

1 部定価 2,625 円(本体 2,500 円 + 税 5%)

2006 年年ぎめ予約購読料 36,410 円

(増刊号 5,985 円を含む 13 冊)(送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印 刷 所 永和印刷(株) ☎ (03) 3813-5001

広告取扱 文 栄 社 ☎ (03) 3814-8541

・早期胃癌研究会は、当研究会、早期胃癌検診協会およびエーザイ株式会社の三者の共催で行われている。

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2006, Printed in Japan.

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株医学書院が保有します。

・JICLS < (株)日本著作出版権管理システム委託出版物 >

本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。

・医学書院ホームページ(インターネット) <http://www.igaku-shoin.co.jp>

(担当) 天野・山中・今田・小松原